

平成 30 年度岩手県立農業大学校外部評価委員会報告書

- 1 日時 平成 30 年 7 月 6 日(金) 13:05~14:45
- 2 場所 岩手県立農業大学校 農業研修館研修ホール
- 3 出席委員

委員長	岩手大学農学部	教授	佐藤和憲 氏
副委員長	岩手県高等学校教育研究会農業部会	農業部会長	岩渕健一 氏
委員	J Aいわてグループ担い手サポートセンター	センター長	三浦繁徳 氏
委員	岩手県農業農村指導士協会	会長	五日市亮一 氏
委員	岩手県農村青年クラブ連絡協議会	会長	吉田雄次郎 氏
委員	岩手県立農業大学校同窓会	会長	笹田昭市 氏
委員	岩手県立農業大学校父母の会	会長	松本一也 氏

4 評価結果

平成 30 年 2 月に実施した学生、保護者、職員への学校運営に関するアンケート調査結果と各項目の取組内容を踏まえた[自己評価結果](#)について、外部評価委員に審議していただいた結果、次の 3 項目全てで、自己評価結果と同じ評価を得た。

評価結果は次のとおり。なお、() は自己評価を示す。

1	新規就農者の確保育成	<u>A</u> (A)
2	多様な担い手の育成	<u>A</u> (A)
3	農大の機能強化推進	<u>A</u> (A)

各項目の主な意見等は以下のとおり。

(1) 新規就農者の確保育成

- ・青年農業者との交流機会の確保が必要である。
- ・学生について基礎学力の向上策のほか、コミュニケーション能力の向上策も必要である。
- ・集落営農組織についての学生への求人紹介に配慮されたい。

(2) 多様な担い手の育成

- ・異業種との交流について、スマート農業などの取り組みに係る現場研修などで交流をさらに深めるなどしてはどうか。

(3) 農大の機能強化推進

- ・学生の体や心のケア対策のため、支援対応窓口の充実及び整備について配慮されたい。
- ・保護者とのコミュニケーションの機会について、今まで以上に配慮されたい。